



平成30年度の家庭ごみ有料化手数料は どのように使われたの？

平成30年度家庭ごみ有料化に伴う手数料収入の使いみち

家庭ごみ手数料（指定ごみ袋）収入は、ごみの減量・リサイクル推進、環境教育、不法投棄や不適正排出対策、市民や地域における環境活動の支援などに活用されました。

決算額 2億8,581万円

☆資源化と市民の取組への支援

1億
6,589
万円

- ・ 紙類、せん定枝、蛍光灯、プラスチックの資源化
- ・ 集団回収団体奨励金
- ・ コンポスト、電動生ごみ処理機などの購入助成
- ・ ごみ処理施設の管理運営経費 など



☆ごみステーション問題の改善や排出マナー向上

2,296
万円

- ・ 環境美化活動推進経費
- ・ 折りたたみ式ごみステーション経費
- ・ 不法投棄、不適正排出対策経費 など



☆普及啓発・環境教育のための経費

164
万円

- ・ ごみ収集カレンダー印刷経費
- ・ ごみ分別、減量啓発経費 など



☆有料化を実施するための経費

9,532
万円

- ・ 指定ごみ袋の製造、販売委託、保管
- ・ 2歳未満の乳幼児世帯の負担軽減などのごみ袋経費 など

